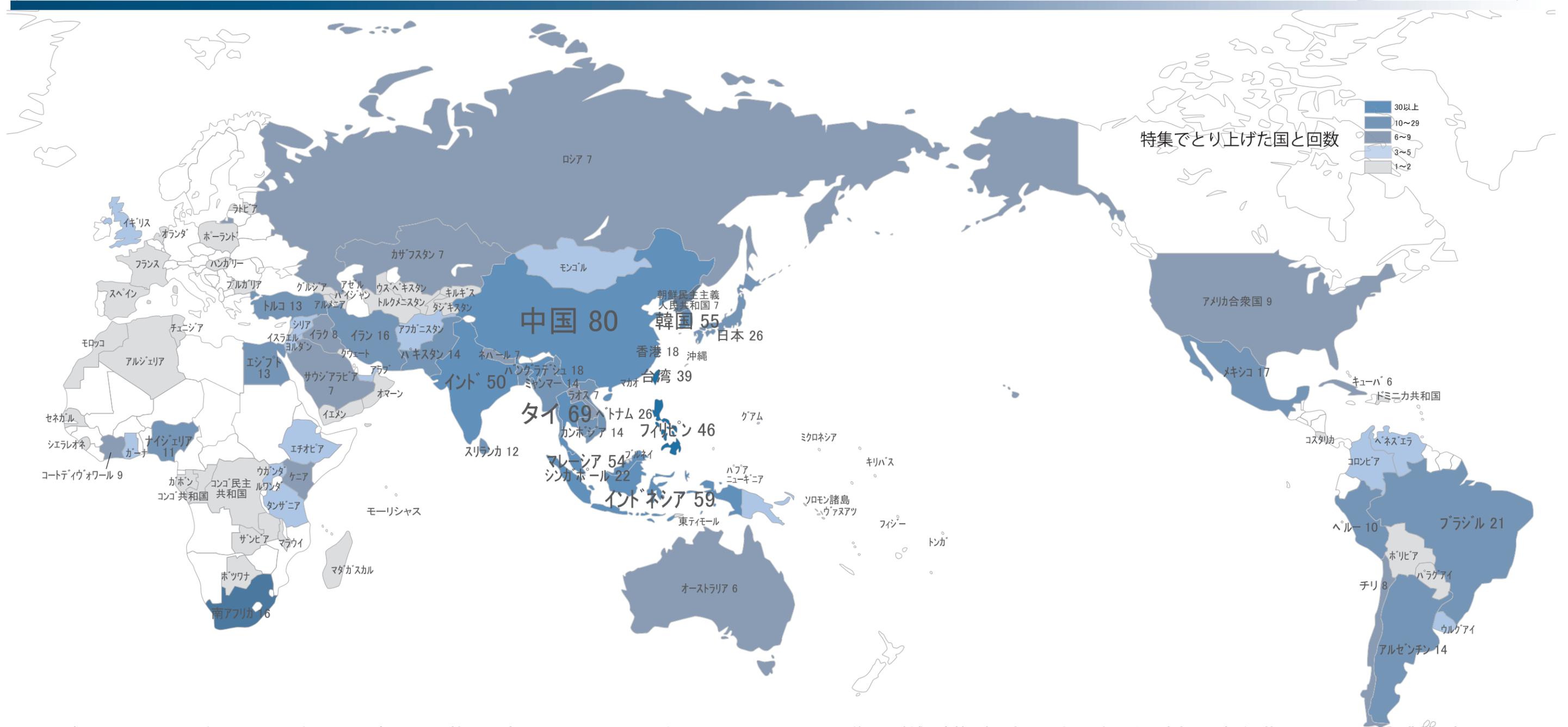


# アジア研ワールド・トレンド創刊200号 記念特集「トレンドを振り返る」



アジア研ワールドトレンド（以下、トレンド）は1995年6月から始まり、本号で200号目となります。トレンドの創刊号は『成長続くアジアの経済—世銀レポート「東アジアの奇跡」を検証する』でした。当時は、世界銀行の「アジアの奇跡」によってアジアの目覚ましい成長に注目が集まった時期であり、1997年には香港の中国返還を控えている時期でした。15年は大昔というほどの長さではありませんが、15年前に現在の世界の状況を想像することは難しかったように、過去を振り返るには十分な年月といえます。この小特集では、まずデータでアジアの変化を眺めてみようと思います。そして15年間のトレンドの前身であるアジア研ニュースを回顧し、中国の特集について振り返ります。中国は、トレンド創刊準備号として「ポスト鄧小平の中国はどこへゆくのか」で採り上げられたのをはじめとして、特集記事では80回と最も多く採り上げられました。次に途上国研究の重要な一角を担う開発研究の15年間を国際開発の潮流を踏まえて、振り返ります。

最後に、地域の実情と向き合いながら、どのような途上国研究が可能なのか、これまでの農村研究をヒントに考えていきます。これまで特集で扱った地域、国は上の地図で示すとおりです。中国について多いのはタイの69回です。全部で110の国を扱い、特集以外の分析レポート、フォトエッセイなどすべての記事を含めるとその数はずっと増えます。また、とりあげたテーマも様々で、**歴史、援助、貧困削減、経済成長、情報、イスラーム、人口、安全保障、書誌、障害、教育、災害、資源、インターネット、社会、民主化、食糧、グローバル化、政治、リサイクル、安全保障、企業、図書館、経済、地域研究、移行経済、金融、労働、法律、アイデンティティ、文化、紛争、環境、司法、IT、食文化、産業、開発、農業**、とトレンドは200の特集の中で数えきれない分野・テーマを扱ってきました。